

ベトレヘムの園病院 バランス・スコアカード（BSC：中長期事業計画に係る数値目標）
（令和元年度～令和3年度）

ビジョン	人生最期の時を自宅で過ごすような「穏やかな時間」と「温かいケア」を提供できる病院になる。							
戦 略	人材を「質」と「数」の両面で充実させる施策を進めることによって、業務の効率化と医療の質改善を実現し、患者ひいては地域における信頼度・満足度を向上させる。 卓越した療養サービスの提供を通じて、当院の療養病院としての存在意義を増大させ、経営を安定させる利益の確保に繋げていく。							
区分	戦略マップ (4つの視点の連鎖関係)	目 標	主な成果	業績評価の指標	令和元年度 実績	令和2年度 目標	令和3年度 目標	アクションプラン (改善活動の計画)
財務の 視点		安定的な利益の維持	適正な利益の確保	当期利益率 (収入に対する純利益率)	2.0%	2.0%	2.0%	
		収益とのバランスを意識した投資	効率的な設備投資の実践	総資本利益率(ROA) (設備投資の利益貢献度合)	1.6%	1.5%	1.5%	
患者の 視点		社会福祉法人の療養型病院として、無料低額診療の実績を増やす	無料低額診療の実績をさらに増進させる	無料低額事業比率 (国+都基準の合計)	18%	20%	20%	社会福祉法人立の施設の使命として、 <u>無料低額診療対象の患者をこれまで以上に積極的に受入れる</u> <u>ワークサポートを一般就労へ結びつける</u> <u>多職種協働によるサポート体制を常に維持</u> <u>安定した取組を可能にする人員を配置、常に新しい視点を持ったテーマを立案</u> <u>患者アンケートを活用し、外来・入院患者のニーズへ具体的な対応で応える</u> 説明と同意の手順の改善も定期的に行う
		地域信頼度の向上	就労訓練事業所としての認知 無料健康相談の常時実施 地域における公益的な取組の実績拡充	ワークサポートの年延べ回数 健康相談受入件数 地域における公益的な取組の累計テーマ数	175回 47件 6テーマ	100回 30件 8テーマ	150回 50件 9テーマ	
内部 プロセス の視点		患者満足度の向上	患者満足度の充実 説明と同意の手順の見直し	患者アンケート結果 (満足・やや満足の合計)	約85%	90%	90%	私たちの <u>質改善の取組を「見える化」</u> させ、質向上の達成をモチベーション向上に繋げる <u>各部署が当事者意識を持って、電子カルテの導入作業に関わり、業務の効率化を進める</u> <u>地域のニーズを捉えた上で、小さく始めた在宅医療サービスの芽を少しずつ育てていく</u> 地域の医療・介護施設との連携を強化し、 <u>地域における信頼と知名度向上</u> させる。
		医療の質改善を拡大	QI(クオリティー・インディケーター)による質改善の実績拡充	QIの改善指標数 (当年度の平均実績値が前年度に対して上回った指標数)	8指標	3項目	3項目	
学習と 成長の 視点		業務の効率化	電子カルテ導入による職員の「生産性」の向上	一人当たり売上高の伸び率 (労働生産性の前年度比)	+3.9%	+0.5%	+0.5%	積極的なアウトプットにより実践力を身に付け、 <u>組織運営とスタッフ教育を担う人材を養成</u> <u>現場からの積極的な提案と実践により、業務改善や組織風土の活性化を進めていく組織への成長</u> 時間単位有休など、 <u>全ての職員にとって働きやすい勤務環境</u> の整備を継続的に進める
		在宅医療対応の推進	地域のニーズを満たす在宅医療の提供	在宅医療分野のサービス提供患者数	未実施	3名	6名	
組織運営に携わる人材の育成と外部発信		地域共生社会に向けての連携強化	地域に根差した病院としての安定的な位置づけの確保	医療・介護施設・居宅事業所への訪問・連携件数	69件	40件	60件	
組織風土の活性化		次代を担う管理者層を内部で育成	ベトレヘム リーダー養成プログラム(BLP)の修了者数(学会発表・論文作成・業務改善提案等の実績)	12名	10名	10名		
		取組の成果の外部発信	ボトムアップによる業務改善実績の増加	プロジェクト会議からの提案(実践)事例数	2件	3件		3件
働き方改革の促進		「自律進化」型組織への成長	電子カルテ導入プロジェクトの作業段階別進捗状況	50%	100%	継続		
		「接遇改革元年」の取組を通じた接遇への意識向上	接遇改革元年プロジェクトの作業段階別進捗状況	50%	100%	継続		
		多様な雇用形態の創出	勤務条件改善の新規実現案件数	1件	1件	1件		